

# 事務事業事後評価シート[平成27年度事業]

## 1. 基本情報

■事業の担当課	農林部農業振興課	■担当係	園芸畜産係
■評価事業名称	産地形成土づくり支援事業費補助金		
■事業開始年度			
■評価事業コード	050200 - 149	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	03 ひと・技・資源を組合せ活気うまれるまちづくり	
	■基本施策	03 魅力ある農林業の振興	
	■施策	04 環境保全型農業の推進	
■事業の類型	06 負担金・補助金(任意・ソフト事業)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの		
■法令等の名称			
■関連計画の名称			
■事業の目的と概要	農業の持つ自然環境循環機能を維持増進し、農地の地力を回復することにより、安全安心で高品質な農産物の生産を行い、活力のある産地の形成を図るとともに、農家の経営安定を図る。土づくりのために、市内の畜産農家から供給される堆肥を購入した費用の4分の1を助成する。		

## 2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成27年度事業計画	平成27年度事業量実績
01	北上市地域循環型土づくり支援事業	生産者組織(生産者)	・アスパラガス、ネギ、サトイモ、セリ、小菊等の栽培に要する堆肥の購入費を補助 ・予算額 1,100,000円	・堆肥投入面積3,658a ・堆肥投入量997t ・総事業費4,211,410円(うち市補助金872,637円)

## 3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
直接事業費	1,409	915	868	879	
人件費	865	4,657	241	894	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	2,274	5,572	1,109	1,773	

## 4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	24年度	25年度	26年度	27年度	指標の説明
01	堆肥投入量	1,351.5t	1,087.05t	1167.0t	997t	
02	堆肥投入面積	3,836.8a	4,091.2a	3,855.3a	3,658a	
03	環境に配慮した土づくりに取り組んでいる農家数	97戸	110戸	96戸	96戸	補助対象農家数

# 事務事業事後評価シート[平成27年度事業]

04	堆肥投入1t当たりコスト	1,683円	3,266円	2,968円		
05	投入面積1a当たりコスト	593円	867円	898円		
06	加入農家1戸当たりコスト	23,443円	32,281円	36,088円		

## 5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

### ■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

### 達成状況の分析

堆肥施用の常態化が図られた。

### 問題点・課題等

毎年施用されるものであり、また事業費も極端に小さいもの場合は補助の必要性が小さい。堆肥の種類も土壌改良に施用するものもあれば、化学肥料の代替として施用するものもあり、数量や面積では一概に測れないものとなっている。

### 1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

### 2. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

### 3. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

### 4. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

### 5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

### 6. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

### 7. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

### 8. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

### 9. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

### ■事業の見直し方策

### ■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了